

研究プロジェクト報告書

調査研究部会

プロジェクト名: 多国籍短期総合日本語データベースの作成	
計画者: 向井園子	プロジェクト参加者: 木山登茂子・坪山由美子

参考資料

(1) <トピック別掲載活動数>

	総数	初	中 -	中 +	上 -	上 +	超
11 自分・家族・家	22	0	3	9	8	2	0
12 趣味・スポーツ	19	0	5	12	1	1	0
13 食べ物・飲み物	11	0	1	10	0	0	0
14 買い物	25	1	8	14	2	0	0
15 一日の生活・労働	30	0	5	8	11	6	0
16 学校・教育	28	0	2	15	6	1	4
17 旅行・交通	40	0	7	17	12	4	0
18 健康	20	2	4	7	5	2	0
19 天気・季節・自然・環境	26	0	4	17	4	1	0
20 交際	34	1	6	14	9	4	0
21 異文化	26	0	2	7	7	7	3
総数	271	4	47	130	65	28	7

(2) <データ項目と入力形式>

項目	記述形式	備考
通し番号	5桁表示 : トピック番号(11-21) : トピックごとの活動番号 01,02,03,... : 連続した活動の場合	
タスク目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ Can-do 表示 : 「 ~ について、 (テキストタイプの) ~ を、 ~ できる」 ・ ただし、言語に焦点を当てた活動などの場合は、Can-do 表示に限定しない。 ・ 複数ある場合は などの番号で表示。 	
タスク手順	...	
タスクレベル	初級+、中級-、中級+、上級、上級+、超級	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「総合日本語シラバス」のタスクレベルに準じる
リソース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材名 + 課/ユニット、頁など ・ 市販教材、生教材で出典が示せるものなどを表示 	
テキストタイプ	<テキスト> A : 分かち書きやふりがなつき。ごく短い1文やその羅列、または箇条書き B : 主にふりがなつき。1文の長さは30字程度まで。1段落程度、または特に接続関係がない数段落で書かれた文章複。 C : 1文の長さは40字程度。主として、接続語その他の表現から、文や段落の接続が明らかな数段落の文章。 D : 8段程度。段落間の関係が比較的わかりやすい文章。 <テキスト以外> 単語、絵・写真、図・表	<ul style="list-style-type: none"> ・ テキスト分類は、「総合日本語シラバス」に準じる ・ リソースが記述されている場合のみ表示
理解	聞 : 音声によるインプット 読 : 文字によるインプット	

アウトプット	即時的対話	該当する場合、「 」	・目標に示されたアウトプット ・活動の過程でのやりとりは除く
	一方向産出	話：口頭による場合 書：文字による場合	・目標に示されたアウトプット
言語に焦点	該当する場合、「 」		・語彙、構造などが目標になっていた り活動で焦点が当てられている

(3) <データベースのサンプル>

通し番号	目標	手順	タスク Lv.	リソース	テキ スタ イ プ	理解	即時 的 対 話	一方向 産出	言語に 焦点
11011	自分を印象付ける自己紹介ができる	二つのグループに分かれ、過去の自己紹介の振り返り、話題や話す順番、自分を印象付ける工夫を考える。グループの人に自己紹介をする。印象についてフィードバックをもらう。	中+	『日本語上級話者への道』1課	B			話	
11012	性格を表すことばを含む自己紹介を理解できる。	性格を表す語彙の確認 聴解タスク(時間の都合で1部のみ) 表現の確認。	上-	『J.Bridge』1課-3	B	聞			
11013	自分を印象付ける自己紹介ができる	自分の性格を含めて再度自己紹介をする(1-2分)	中+	『日本語上級話者への道』1課	B			話	
11021	名前を覚えてもらえるような工夫した自己紹介ができる	音声・文字・エピソードで何か工夫をする。 名前を覚えるためのボールゲーム(呼びかけてQ&A)	中+					話	
11022	自分を表現する語彙を増やす(性格の語彙)性格を表す語彙を覚える。	知っている語彙をチェックし、知らない語彙は研修生同士情報交換 反対の意味の言葉を選ぶ ニュアンスで分類する。 自分の性格を表現する。	中+	『日本語教育における学習の分析とデザイン』の語彙学習をモデルした性格の語彙タスク	単語			話	